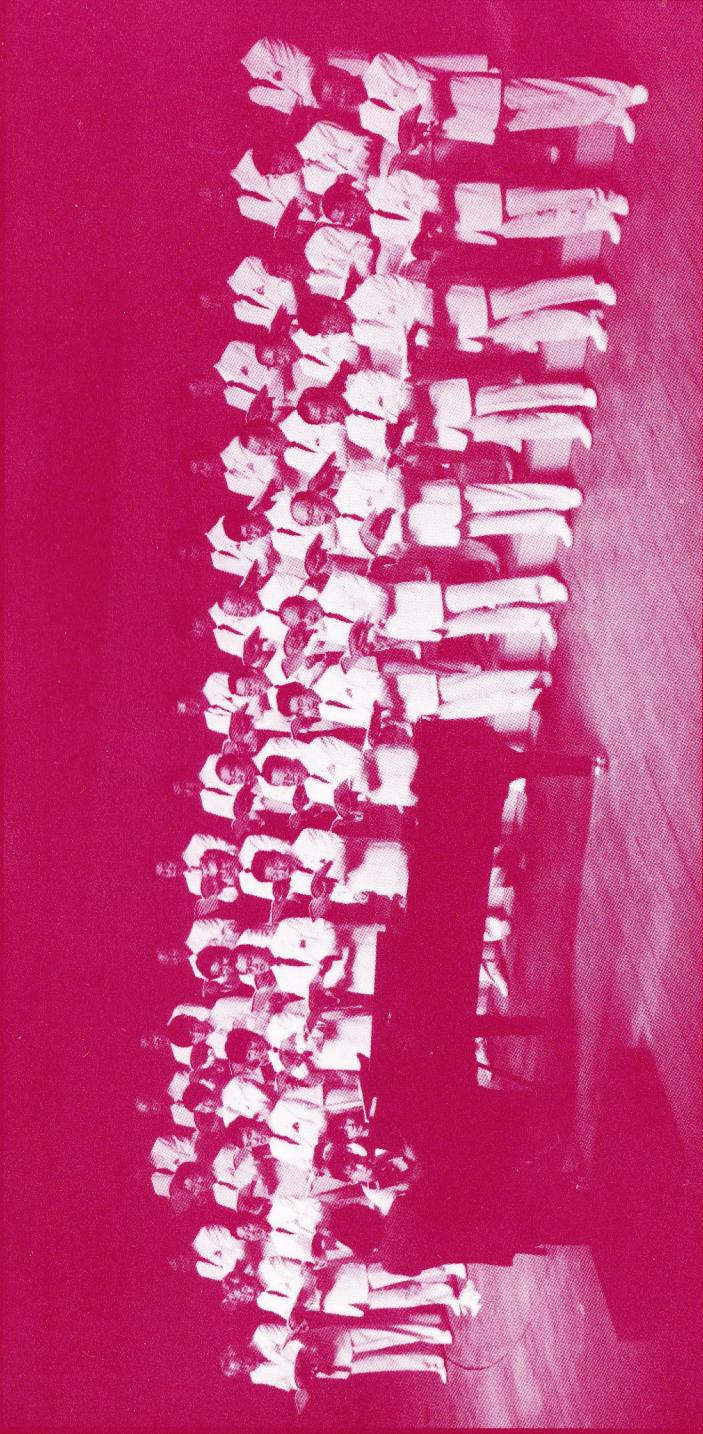


小田原男声合唱团

第22回定期演奏会



日時 1993年7月10日(土)18時30分開演

場所 小田原市民会館大ホール

プログラム

1. MESSE IN G-DUR

「ト長調 ミサ曲」

シューベルト 作曲

Kyrie

Gloria

Credo

Sanctus

Benedictus

Agnus Dei

指揮 渡辺 岩 己子
ピアノ 渡辺 崎 紀子

2. 男声合唱組曲

Enfance finie

アンファンス フィニ
～過ぎ去りし少年時代～

三好 木 達 下 牧 治 子
作詞 作曲

I Enfance finie

II 物 語

III 壊れた窓

IV 乳母車

指揮 渡辺 岩 己子
ピアノ 渡辺 崎 紀子

やっぱりKが好き
AXIA

1. 5.8mmの超小型ズームレンズを上げ、
それまでより高い
3.2mmのズームアップから
カメラのフレームが大きく見える。
ズームアップは上げたから
それだけ画質が良くなる。

気になるケースのK新登場

3. ロシア民謡集より

- 1 「コサックの子守唄」
- 2 「カチキューシヤ」
- 3 「夕べの鐘」
- 4 「オレーグ公の歌」
- 5 「12人の盗賊」
- 6 「カリンカ」

指揮 渡岩 己子
ピアノ 辺崎 紀子

4. 男声合唱組曲

水のいのち

- I 雨
- II 水たまり
- III 川
- IV 海
- V 海よ

高野 喜久雄 作詞
高田 三郎 作曲

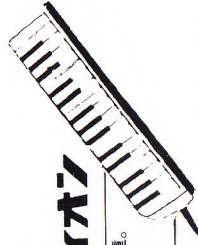
指揮 渡岩 己子
ピアノ 辺崎 紀子

はじめて出逢う・音楽のよろこび

2Mの

ススキメロディオン

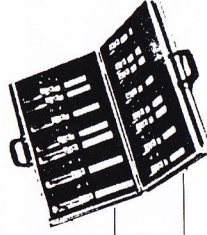
ソプラノからバスまで13機種。
演奏性・用途に合わせた
メロディオン。



2Mの

トーン・チャイム

創造するよろこびが、音楽のよろこび。
トーン・チャイム。



株式会社 鈴木楽器製作所
〒430 浜松市須家2-25-11 TEL.<053>461-2325(代)

鈴木楽器販売株式会社
神奈川(営)：横浜市緑区すすき野2-6-6 TEL.045-901-2160

Enfance finie

アンファン・ス・フィニ

～過ぎ去りし少年時代～

三好 達治

I Enfance finie (『測量船』)

海の遠くに島が……、
雨に椿の花が堕ちた。
鳥籠に春が、春が鳥のゐない鳥籠に。

約束はみんな壊れたね。
海には雲が、ね、雲には地球が、
映ってゐるね。
空には階段があるね。

今日記憶の旗が落ちて、
大きな川のように、
私は人と誤れよう。床に私の足跡が、
足跡に微かな塵が……、
ああ哀れな私よ。

僕は、さあ僕よ、僕は遠い旅に出ようね。

II 物語 (『測量船拾遺』)

私の讀んでゐる長い長い戀の物語——
それがききたいのか
夜ふけの屋根へ鳥がきてとまったやうだ
月の光にぬれながら静かに
休んでゐるやうだ

私の讀んでゐる長い長い罪の物語
それをきいてゐるのか
鳥の身もこんな夜頃は
ちっと頸をすくめて
いつかしら苔のやうに泣いてゐるやうだ

III 毀れた窓 (『一點鐘』)

廢屋のこはれた窓から
五月の海が見えてゐる
硝子のない硝子戸越しに
そいつが素的なまっ晝間だ
波は一日ながれがれてゐるその額縁に
ポンポン船がやってくる
灰色の鷗もそこに集って
何かしばらく解けない謎を解いてゐる

あとはまたなんにもない青い海だが
それがまた何とも妙に心にしみる

ぽっかり一つそんな時鯨がそこに浮いたって
よささうな鹽梅風にも見えるのだ

それをぼんやり見てゐるとどういふものか
俺の眼にはふと故郷の街がかんできた

古い石造建築のどうやら銀行らしいやつ
くつきりとした日かげを俺が歩いてゐる

まだ二十前の俺がそれから廣場をまた
突切ってゆくのだ
ああそれらの日ももうかへっては
來なくなつた……

そんな思出でもない思出が
随分しばらく俺の眼さきに浮んでゐた

どういふ仕掛けの窓だらう
何しろこいつは素的な窓だ

丘上の
松の間の

廢屋のこはれた窓から
五月の海が見えてゐる

IV 乳母車 (『測量船』)

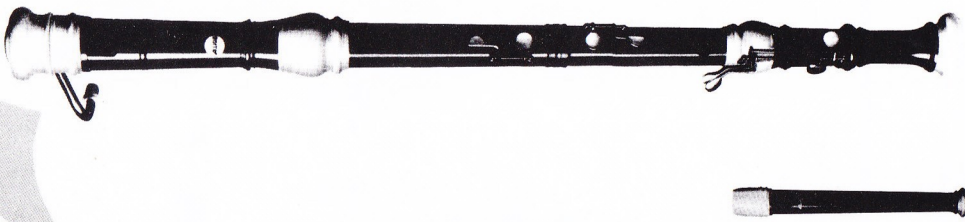
母よ——
淡くかなしきものものふるなり
紫陽花いろのものものふるなり
はてしなき並樹のかけを
そうそうと風のふくくなり

時はたそがれ
母よ 私の乳母車を押し
泣きぬれる夕陽にむかって
りんりんと私の乳母車を押し

赤い縷のある天鷲絨の帽子を
つめたき額にかむらせよ
旅いそぐ鳥の列にも季節は空を渡るなり

淡くかなしきものものふる
紫陽花いろのものものふる道
母よ 私は知ってゐる
この道は遠く遠くはてしない道

ALLOS®
fromクライネ
toバス・アウロス。



シンクオニ— No. 501S シンクオニ— No. 533
アウロスが誇る超精密技術師の結晶。
格調高いハロソング調のデザイン。
奏者に即える絶妙のグオイスンク。
世界一流プレーヤー絶賛の楽器。
ソプラノ・アルトリコーダー—生樂種
新考案・指かけ付！
らくらく運指・スキャン上座・ミラガの修正
別冊価格 ソプラノ100円・アルト200円

トヤ楽器製造株式会社
東京本社/〒114 東京都板橋区大蔵町41
☎03-360-8301(代)
大阪営業所/〒541 大阪市中央区北久米町2-1-7
本町和光ビル802号 ☎06-264-7191(代)

水のいのち

高野 喜久雄 詩

1 雨

降りしきれ 雨よ
 降りしきれ
 すべて
 立ちすくむものの上に
 また
 横たわるものの上に
 降りしきれ 雨よ
 降りしきれ
 すべて
 許しあうものの上に
 また
 許しあえぬものの上に

降りしきれ 雨よ
 わけへだてなく
 涸れた井戸
 踏まれた芝生
 こと切れた梢
 なお ふみ耐える根に

降りしきれ
 降りしきれ
 井戸を井戸に
 庭を庭に
 木立を木立に土を土に

おお すべてを
 そのものに
 そのものにて

2 水たまり

わたちの くぼみ
 その この
 くぼみにたまる
 水たまり
 流れるすべも めあてもなく
 ただ

だまって
 たまるほかはない
 どこにでもある 水たまり
 やがて
 消え失せてゆく
 水たまり
 わたしたちに肖っている
 水たまり

わたしたちの深さ
 それは泥の言葉
 わたしたちの言葉
 それは泥の言葉
 泥のちぎり
 泥のうなずき
 泥のまどい

だが
 わたしたちにも
 いのちはないか
 空に向う
 いのちはないか
 あの水たまりの にごった水が
 空を うつそうとする
 ささやかな
 けれどもいちぢぢないのちはないのか

うつした空の
 青さのように
 澄もうと苦しむ
 小さなところ
 うつした空の
 高さのままだ
 在らうと苦しむ
 小さなところ

3 川

何故 さかのぼれないか
 何故 低い方へゆくほかはないか

よどむ淵 くるめく渦のいらだち
 まこと 川は山にこがれ
 きりたりつ峰にこがれるいのち
 空の高みにこがれるいのち

山にこがれて 石をみごもり
 空にこがれて 魚をみごもり
 さからう石は 山の形
 さかのぼる魚は 空を耐える

だが やはり 下へ下へと
 ゆくほかはない 川の流れ

おお 川は何か
 川は何かと問うことを止めよ
 わたしたちもまた
 同じ石を 同じ魚を みごもるもの
 川のこがれを こがれ生きるもの

4 海

空をうつそうとして
 波一つなく阻ぐことももある
 岩と混じれなくてひねもす
 たけり狂うこともある

しかし
 凡ての川はみな
 そなたをさして常に流れた
 底に沈むべきものは沈め
 空にかえすべきものは
 空にかえした

人でさえ 行けなくなれば
 そなたを さしてゆく
 そなたの中の 一人の母をさしてゆく

そして そなたは
 時経てから 先ち足りた死を
 そっと岸辺にうち上げる
 みなさい
 これを 見なさい と云いたげに

5 海よ

ありとある 芥
 よこれ 疵れはてた水
 受け容れて
 すべて 受け容れて
 つねに あたらしくよみがえる
 海の 不可思議

休まない 汀
 波の指 白い指 くりかえし
 うまず くりかえし
 億の砂 億の小石を
 数えつつつづける
 海の不可思議

くらげは 海の月
 ひとでは 海の屋
 海蟹 海の馬 空にこがれ
 おこや貝は 光を抱いている

そして 深く暗い海の底では
 下から上へ
 まこと 下から上へ
 雪は
 白い雪は 降りしきる

おお 海よ
 たえないに 始まりよ
 あふれるに みえて
 終るかに みえて
 終ることもなく
 億年のむかしも いまも
 そなたは

いつも 始まりだ
 おお 空へ
 空の高みへの 始まりなのだ

のぼれ のぼりゆけ
 そなた 水のこがれ
 そなた 水のいのちよ

たとえ 己の重さに
 逆らいきれず
 雲となり
 また ふたたび降るとしても

のぼれ のぼりゆけ
 みえない つばさ
 いちぢぢな つばさ あるかぎり
 のぼれ のぼりゆけ
 おお



お食事
 亭

お堀端通り

小田原市栄町1-13-31

TEL 23-3631

シュレーベルト ミサ曲 ト長調 D167
福永 陽一郎

シュレーベルトのミサには二つの系列がある。ひとつは、男声合唱への編曲によって、日本でも五十年もの昔からよく知られているドイツ語のミサ《ミサの奉獻聖祭用の声楽曲と主の祈り 通称「ドイツ・ミサ」D872》に代表されるルーテル派プロテスタント教会のためのものであり、もうひとつはオーストリアの伝統的宗教でのカトリック教会のためのラテランのミサ曲である。

ラテン語のミサは、全部で6曲ある。そのうち第5番変イ長調D678と第6番変ホ長調D950は規模の大きい重要な作品であるが、第1番から第4番までは、すべて1814年から1816年までに書かれており、つまりシュレーベルトが17歳から19歳までの作曲であるということである。これらの十代のシュレーベルトによって書かれたミサ曲は、規模の上では大きくなく、精神的に深い感動をもたらず音楽というものでもないが、その愛すべき魅力に満ちた楽想によって、これはまぎれもない天才の仕事であることが立証されていることを、すべての人が認めるに違いない。

四つの“小さい”ミサ曲は、すべてシュレーベルトの故郷、ウィーン郊外のリヒテンタールの教会で実際に使用された。中でも第2番ト長調D168は、音楽学者のグローヴァーやアイジンシュタインによって“傑作”であり、“非凡な才能の証明である”と称賛された。四つの中でも最も有名なミサ曲となった。

シュレーベルトは、このト長調ミサ曲を一週間以内に書き上げた。1851年の3月2日に書き始め、3月7日に書き終えたのである。そのとき彼は18歳であった。18歳の音楽家が作曲したのもとして、トップにランクされる作品であるとも言われている。

(第7回定期演奏会の曲目解説から要約しました。)

木下 牧子 男声合唱組曲 *Enfance finie*

北原白秋の詩は、多田武彦のいくつかの組曲をはじめとして、多くの男声合唱曲に歌われているが、その白秋が大正7(1918)年から15(1926)年まで、小田原の十字町お花畑や天神山に住み、「かやの木山」そのほか数々の名作を世におくったことは周知の事実である。時をこぼれ、「Enfance finie」の作詞者 三好達治もまた、昭和14(1939)年から19(1944)年にいたる5年間、早川口下河原に住んでいた。小田原ゆかりの詩人の作品を歌うことに、私たちは合唱を愛するものとして、深い感動を覚えずにはいられない。 故福永陽一郎先生が、現代合唱曲シリーズのライナー・ノーツに次のように記しておられる。

多田武彦は、その初期においては、北原白秋の詩と、とくに相性が良かったように思う。その後、伊藤整の詩のように、一見、歌曲や合唱曲とは無縁であるようなものへの曲づけに成功して以来、どのような形態の詩に対しても、行くところ可ならざるはないように見えていたこの作曲家も三好達治に到って、再び、もうどうしようもないほどの相性の良い好対象に出会ったように見受けられる。三好の詩の憂鬱の色と同居する一種のユーモアと、もうやややセンセメンタルなロマンティズムから脱却した多田武彦の音楽の間に、一種の乾いた骨っばいものを感じられ、その共通点の合致には、言葉を失うほどである。とにかく私(福永)は、多田武彦によって曲づけされたものを経験した後では、書籍としての三好達治詩集をひもといいても、ただちに多田メロディが頭に浮んでくるのを止めようがない。

多田武彦ほどの一致は見られないとしても、木下牧子の男声合唱曲“Enfance finie”もまた、三好達治の詩の心を充分に生かした佳曲である。作曲家の言葉を借りれば、「三好達治の4篇の詩は、今の時代にいささか古風と言えなくもないが、その格調高い言葉で描き出される少年時代への郷愁、母を思う心、恋の切なさなどは、現代のドライな若者にとっても、やはり変わらぬ心情ではないだろうか。」と言うことにもなるが、用いられた4篇の詩は、処女詩集「測量船」、「測量船拾遺」、「一黠鐘」から選ばれており、第3曲「毀れた窓」は、小田原海岸の松林の中、廃屋の毀れた窓のガラスの無いガラス戸越しに、5月の青い海を見るという設定である。

① コサックの子守唄

馬に乗って山野を駆けめぐる剽悍なるコサック兵も、今はゆりかごの中。母親の子の成長を願う心と戦士となる運命を悲しむ心が、短調と長調の混合で出来ている曲によく表現されている。

② カチュエーシヤ

第二次世界大戦時代のソビエト歌曲。「リンゴの花ほころび、川面にかすみ立ち・・・」の訳詞で知られるが、今回の歌詞は全く新しく創作されたもの。

③ タベの鐘

再び帰って来ない若い日々とふぶるさを思い出して歌うテナー・ソロ。合唱は物悲しい鐘の音を、厚いハイモニーでひびかせる。

④ オレーグ公の歌

ドン・コサック合唱団の演奏で大変人気のあったもの。前半はオレーグ公のパリク・ソロ。公の親衛隊が合唱でリズムをきざむ。後半は力強い大合唱となる。

⑤ 十二人の盗賊

原曲はチャリアピンが歌い有名になった「十二人の大罪人のうた」。合唱では盗賊の頭クチャールの仲間達との別れの場面を歌っている。

⑥ カリカン

カリカン、マリンカは、ジャムや果実酒の材料にされる、ロシアではポピュラーな果実。可愛い実をつけることから、花嫁や若い娘のシンボル。踊りを伴って歌われる結婚を祝う歌。

一部原語で歌います。少しでもロシア語の豊かななびびきが出ていれば、嬉しいのですが……。

高田 三郎 男声合唱組曲 「水のいのち」

福永 陽一郎

この組曲は、1964年、TBSの委嘱によって作曲され、山田一雄指揮の日本合唱協会によって放送初演されたものである。この年に作曲者の高田三郎(敬称略)は大きなカンタータ「無声慟哭」も発表しているが、独唱と朗読をともなった5楽章よりなる管弦楽作品であるこの曲にも合唱が重要な役割をこなっており、1956年、40歳を過ぎから合唱曲に手をそめたのはじめたこの作曲家が、この分野における自己の確立をしたのが「水のいのち」の年と言ってもよいのではないだろうか。

高田三郎の混声合唱曲には「私の願い」という名作があるが、それが内容的にも技術的にも、やや、難渋な面を持っているのに対し「水のいのち」は、“うたいやすく”“かそりやすく”という、合唱団員の要求を充分に満足させる要素に富み、音楽的にも近寄りやすさがあるものと考えられる。しかも、水の流れに人生行路という歌詞の内容もわかりやすく、出版されると同時に爆発的な人気と言ってよほど非常に共感をもって日本全国の合唱団からむかえられ、受け入れられた。この「水のいのち」以後、日本の合唱界には“高田三郎ブーム”が到来した、と言われたくらいである。その人氣は作曲家自身の手による女声合唱用と男性合唱用の「水のいのち」が出版されるという結果を呼ぶに至った。

個人的な話になるが、私は高田三郎を決して流行作家になるような軽佻浮薄な作風の音楽家と考えていなかった。この絶大な人気作品にとまどっていた。全国にこの曲をうたわせない合唱団はなく、合唱指揮者は競ってこの曲と交流または対決をしたがっているような風潮であったが、私は楽譜を読んで調べたうえで、なおかつ、この曲の表面にある「大衆に手を差し伸べたようなほほえみ」に素直な共感をもてないでいた。私が常任指揮者をしてゐる大学合唱団がこの曲を歌いたがったとき、自分で指揮せずには客演指揮者を依頼したくらくらいである。私の監修指揮する東芝レコードの「現代合唱曲シリーズ」が発足したとき、男性合唱曲「月光とピエロ」と同等の混声合唱曲として、この「水のいのち」がとあげられた。「月光とピエロ」はレコードになる以前に数百回の舞台指揮を経験していたが、「水のいのち」はレコードが発売された時点で、まだ一度もステージで指揮したことがなかったのである。ところが、この「水のいのち」の私の指揮したレコードは、このシリーズ第一番の売上枚数を誇るという結果になった。

(第4回定期演奏会の曲目解説を転載しました。)

あいさつ

小田原男声合唱団
団長 柏木秀茂

本日は、大変お忙しいところ、私たちの演奏会にご来場いただき、誠に有り難うございました。ここに第22回定期演奏会を迎えることができましたことに對し、心より感謝申し上げます。或る雑誌のエッセイで宗 左近さんが次のように述べています。

人間の肉体は神さまのおつくりになった楽器です。人間はつくった楽器の出すことのできない音を出します。つまり神さまの声を。

合唱団員は、誰と合唱するのか。むろん、合唱団員と、です。しかし、それだけではいはずです。

まず、聴衆と合唱するのです。会場では歌わない聴衆と。

次には、はるか向うの存在と合唱するのです。

それは、何か。ホールとそとの並木、風、雲、夕映え、闇の空、そして星たち、さらには、その背後においてになるはずの神さまと。

そういう存在に声を出させて合唱させてこそ、人間たちの合唱団なのではないでしょうか。

以下略

今回の演奏会は、このエッセイの中にもあるように、合唱の原点へもどりながら「水のいのち」、シューベルトのミサ曲、初めて取上げたロシア民謡など、四つのステージを渡辺決己先生にお願いいたしました。はるかな存在と合唱するために――。

“年はとっても情熱だけは負けない”をモットーに“完全燃焼の小田男”を目指し頑張りますので、最後までご声援をよろしくお願いいたします。本日は大変ありがとうございました。

プロファイル

渡邊 決己



幼時よりヴァイオリンを三浦二郎、鷲見三郎、日比野愛次各氏に師事し、小学四年で東北地区器楽コンクール入賞。ピアノを田村宏、清水玲子各氏に、桐朋学園音楽科指揮聴講クラスにて、故斎藤秀雄氏に指揮法を、国立音大夏期講習等で作曲を島岡譲、中村太郎各氏に、東京芸大にて、三石精一、金子登各氏に指揮を、管弦楽法を佐藤真氏に、声楽を伊藤巨行氏に師事、芸大卒業後、財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団に所属し、ボニー・ジャックス等と神奈川県民ホールでデビューする。かたわら、NHK交響楽団で指揮研究を行い、菲崎での音楽教室でN響を振る。又、東京室内歌劇場主催の数々のオペラの指揮を行い好評を博す。また、指揮のかたわら坂東玉三郎・真田広之の指導や、KMG音楽事務所、office K.M.G. とを主宰、'89 ミュージカル“ピーターパン”を'91 “ジプシー” '93 “アニー”の指揮を担当、好評を博す。又編曲等でも活躍。小田原男声合唱団常任指揮者。

岩崎 紀子



1991年、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。辛島仔緒子・小森谷 泉各氏に師事。又室内楽法を岩崎淑・渡邊康雄・平吉毅州・井上直幸・井上頼豊各氏に師事を仰ぐ。同大卒業と同時に女声合唱団クール・ベルマモンの専属ピアニストに就任。指揮者渡邊決己氏の指導、推薦で活躍の場を小田原男声合唱団の練習ピアニストに広げ、小田原地区のモーツァルト「レクイエム」、ベートーベン「ミサ・ソレムニス」で練習ピアニストとして参加し、現在小田原男声合唱団専属ピアニスト。

◆1992～1993 小田男カレンダー(予定も含む)

年月日	曜	演奏会名等	会場	指揮
92. 7. 11	土	第21回定期演奏会	小田原市民会館	渡辺 決己・外山 浩爾
92. 10. 4	日	小田原市民合唱祭	小田原市民会館	渡辺 決己
92. 10. 18	日	南足柄中学校音楽会	南足柄文化会館	渡辺 決己
92. 10. 31	土	西湘音楽フェスティバル	小田原市民会館	黒岩 英臣
92. 11. 23	月	第11回JAMCA演奏会	愛知芸術文化センター	渡辺 決己・荒谷 俊治
93. 1. 24	日	西湘教職員互助会演奏会	小田原市民会館	渡辺 決己
93. 6. 6	日	第42回湘南合唱祭	小田原市民会館	渡辺 決己
93. 6. 26	土	定期演奏会強化台宿	松田中学 奇	渡辺 決己
93. 6. 27	日			
93. 7. 10	土	第22回定期演奏会	小田原市民会館	渡辺 決己
93. 10. 3	日	小田原市民合唱祭	小田原市民会館	渡辺 決己
93. 12. 18	土	西湘音楽フェスティバル	小田原市民会館	十束 尚宏

◆1992～1993 演奏曲目(第21回定演～第42回湘南合唱祭)

No.	作曲者	曲 目	No.	作曲者	曲 目
1	新 実 徳 英	やさしい魚	11	山 田 耕 作	この道
2	萩 原 英 彦	雨のやみかた	12	山 田 耕 作	あわて床屋
3	遠 藤 雅 夫	光の海	13	山 田 耕 作	中国地方の子守唄
4	J.シユトラウス	美しく青きドナウ	14	清 水 脩	そうらん節
5	J.シユトラウス	常動曲	15	伊豆大島民謡	大島節
6	J.シユトラウス	酒・女・歌	16	山形県民謡	最上川舟唄
7	中 田 喜 直	マリちゃんの歩いた夢	17	清 水 脩	秋のピエロ
8	ベートーベン	莊厳ミサ曲	18	多 田 武 彦	柳 河
9	ベートーベン	第九交響曲(合唱)	19	多 田 武 彦	雨
10	ケルビーニ	レクイエム	20	ウエーバー	魔弾の射手

美しい合唱は人生のロマン

オダダンの楽しき仲間達

トップテノール

斎藤 恵司(厚木) 福嶋 修(小田原) 日置 達男(南足柄)
 西山 広木代(二宮) 吉田 晃(小田原) 北岡 一夫(厚木)
 長谷川 幸雄(小田原) 加藤 重喜(秦野) 堀内 哲夫(大井)

セカンドテノール

青野 正純(小田原) 鈴木 幸三(山北) 小野 豊(小田原)
 鈴木 昌弘(小田原) 佐藤 精孝(二宮) 青野 幸夫(秦野)
 高橋 梁(平塚) 佐々木 純(南足柄) 宝子山 尚生(小田原)
 石坂 達也(南足柄) 加藤 元(大磯) 壺中 勉(秦野)
 坪井 孝工(南足柄)

バリトン

足利 裕之(熱海) 柏木 秀茂(小田原) 下村 興毅(小田原)
 松本 和夫(小田原) 氏家 慶明(山北) 中島 広志(厚木)
 伊東 清邦(秦野) 小沢 一(小田原) 大塚 孝文(小田原)

ベース

井上 忠彦(小田原) 坂口 宗夫(小田原) 渡辺 誠之(小田原)
 江沢 孝(小田原) 日下部 陽(平塚) 中山 博之(二宮)
 江藤 凱夫(厚木) 高橋 秀人(小田原) 赤川 軍一(厚木)
 杉本 英樹(小田原) 一色 義信(秦野) 遠藤 俊一(秦野)
 原 誠(南足柄) 曾我 重康(小田原)

第22回定期演奏会スタッフ

実行委員長 斎藤 恵司 事務局 井上 忠彦 会計 佐藤 精孝 演出 松本 和夫
 プログラム 足利 裕之 壺中 勉 合唱 福嶋 修 打ち上げ 杉本 英樹
 舞台監督 藤本 慎治

小田原男声合唱団運営スタッフ

指揮者 渡辺 決己 団長 柏木 秀茂 副指揮者 松本 和夫 ピアニスト 岩崎 紀子
 副団長・技術部長 松本 和夫 副団長・財政部長 一色 義信 副団長・団員部長 福嶋 修
 事務局 井上 忠彦 事務部長 斎藤 恵司 情報部長 日置 達男 渉外部長 長谷川 幸雄
 備品部長 高橋 梁 監査 足利 裕之 坂口 宗夫

アポロピア

東洋ピアノ製造株式会社



井上 兼 登

小田原お徳通り
TEL 24-0515